

日本キリスト教連合会 会報



日本キリスト教連合会 前委員長

菊地 功 (カトリック東京大司教／枢機卿)

排除と分断の世界で宗教が生み出す希望

2025年4月21日に教皇フランシスコが帰天され、5月8日の夕刻にはロバート・プレヴォスト枢機卿が枢機卿団によって教皇に選出され、レオ14世が誕生しました。

わたしも参加しましたが、枢機卿団が祈りのうちに求めたのは第二の教皇フランシスコではなく、教会を忠実に導く使徒ペトロの後継者でありました。

5月8日の夕刻、レオ14世の第一声は「あなたがたに平和があるように」でした。その上で教皇は、「この平和の挨拶が皆さんの心に入りますように。……これが復活したキリストの平和です。謙遜で、忍耐強い、武器のない平和、武器を取り除く平和です。この平和は神から来るものです」と述べて、平和の構築、しかも武器のない世界の実現による平和の構築こそが、教会にとっての優先課題であることを明確にしました。

しかし実際の世界はその願いとは全く対局の現実が支配し、命に対する暴力がはびこり、人間の尊厳はないがしろにされ、異質な存在は排除され、その結果、絶望が社会を支配しています。いま必要なのは希望です。

わたしは1986年から8年間、西アフリカのガーナで宣教師として働いた経験があります。貧困や病気など様々な苦しみの中にあっても、ガーナの人々は明るい笑顔で生きていました。笑顔の秘訣を尋ねると、「神父さん、わたしたちはガーナマジックで生きてるんですよ」と言われたことがあります。

それは、どんな困難な状況にあっても、自分は見捨てられることはない。必ず誰かが助けてくれるという確信を表した言葉でした。決して自分は忘れられることはない。孤独のうちにのたれ死ぬことはない。困難に直面する時は誰かが必ず助けてくれる。その確信こそがガーナマジックの正体です。連帯に対する確信が命を生きる希望を生み出していました。宗教者の果たす役割は、人間関係の回復です。とりわけキリスト教は、その始まりからしてイエスが弟子たちを集めたところにある共同体の宗教です。共同体は内にこもって集まるだけではなく、一緒になってキリストの福音を実践していく愛を生きる共同体であります。共に生きることが、命を生きる希望を生み出すのだと、わたしたち自らがあかしする存在でありたいと思います。



日本キリスト教連合会
新委員長 ダビデ・上原 榮正

この時代にこそ 「キリストの平和」を

「キリストの平和」は、祈り、互いに手を取り合い、
連帯する中で生まれて来ます

主の平和。

この度、日本キリスト教連合会常任委員会委員長を拝命致しました、日本聖公会沖縄教区主教及び首座主教の上原榮正と申します。よろしくお願ひ致します。

私は1956年、戦争の傷跡が残っていた沖縄に生まれました。米軍の那覇エアベースと那覇軍港が近くにあり、家の周囲には米軍住宅もありました。

私の少年時代は復帰運動が真つ盛りでした。米軍占領下で、戦中・戦後に米軍基地に接収された土地の返還運動、米軍による事件・事故の多発、住民の人権を無視した不当裁判への抗議運動、沖縄を推進基地としたベトナム戦争反対と平和運動などが重なっていました。米軍基地ゲート前では基地労働者や学生、青年たちがストライキやデモを行い、学校の先生はビラ配りをしていました。

住民運動により米軍は沖縄統治を断念し、1972年に復帰しました。平和憲法への復帰でしたが、日米安保が優先し、沖縄では日本国憲法の適用はありません。現在も米軍基地からの騒音被害、PFOS等による飲料水被害、米軍人による強姦や殺人な

どを含む事件・事故などは続いております。米軍人が事故を起こし基地内に逃げ込むと、日本の警察は逮捕することができません。反対に米軍人の多い沖縄市では、MP(米軍の軍警察)が沖縄市内を取り締まっています。MPが日本国内を取り締まるなど、可笑しい状況が沖縄にあります。沖縄では米軍の新基地建設が進み、自衛隊基地も台湾有事などを理由に強化・拡大を続けています。

今、世界は軍事、経済で力を持つ国が内外を分断させ、周辺の国々を暴力で支配し、力による平和を造ろうとしています。でもそれは「キリストの平和」ではありません。「キリストの平和」は、祈り、互いに手を取り、連帯する中で生まれて来るものです。すべての人の命と人権が大切にされる時、そこに平和が実現します。すべての戦争が一日も早く終わり、主にある平和な世界となることを共に祈り、求めていたらと願います。

*

「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」(マタイ二五章40節)

日本キリスト教連合会 「2026年度 総会」を4月30日に開催

2026年4月30日(木)午前10時から「2026年度総会」を书面決議により開催しました。コロナ禍以来、対面での総会開催が行えない中で、事前の书面決議、また Zoom での開催ではありましたが、昨年度の日本キリスト教連合会の活

動報告／活動計画を提示し、加盟教団・教会のご承認をいただきました。また秋の研修会へのご参加や毎年の分担金のご協力など、多くのご理解とご支援を賜り、活動を継続することができました。ここに改めて御礼申し上げます。

特集 2026 秋の石井修会

日本キリスト教連合会主催 第50回 法人事務・会計実務研修会



秋の研修会は10月に開催！全国から皆さまをお迎えしてオンラインで開催いたします。奮ってご参加ください。今年も基本に立ち返り、実践的なプログラムで行います。会計実務コースでは「簿記の基本を知る」、法人事務コースでは「そもそも宗教法人とは？」「法人事務の実際」など大切な事柄を扱います。



法人事務／会計実務 講師のご紹介



会計実務担当 風間^{たけし}岳志氏
税理士法人「風間会計事務所」代表。現在は企業の税務顧問を中心に、社会福祉法人・宗教法人・非営利型一般社団法人の税務顧問及び監事を担当されています。



法人事務担当 江原^{よしあき}慶亮氏 道家^{どうけ}紀一氏



法人事務担当のお二人は、普段から教団の法人事務を担っています。日本キリスト教連合会常任委員会メンバー。

開催日時 2026年10月14日(水)／15日(木) 午前10時～15時

講座名 A：会計実務コース

2026年10月14日(水)

講師：風間^{たけし}岳志氏

(9:30～10:00 入室)

10:00～10:15 開会の祈り

10:20～12:00 講義1

休憩(1時間)

13:00～14:00 講義2

14:10～15:00 質疑応答／閉会

講座名 B：法人事務コース

2026年10月16日(木)

講師：江原^{よしあき}慶亮氏、道家^{どうけ}紀一氏

(9:30～10:00 入室)

10:00～10:15 開会の祈り

10:20～12:00 講義1

休憩(1時間)

13:00～14:00 講義2

14:10～15:00 質疑応答／閉会

参加費：1講座につき1,000円(事前資料代含む) 締切日：9月30日(水)

参加申込(メールアドレス必須です) 日本キリスト教連合会事務所に「Eメール」にて、別途お送りする案内チラシ裏面(申込要項)に従って、氏名、住所、電話番号、メールアドレス(必須)、所属を記載して申し込みを行ってください。また参加費の振り込みを行ってください。お振り込みを確認後、ZOOMのご案内をいたします。事前質問もぜひお寄せください。

▶ 9月30日(水)までにお申し込み、お振り込みを済ませてください。

担当：矢萩新一(nikkiren.office@gmail.com) 162-0805 東京都新宿区矢来町65

日本聖公会管区事務所内 (電話) 03-5228-3171



日本キリスト教連合会

<https://jccc21.com>

News



日本キリスト教連合会としての取り組み

多くの懸念材料のある中で、信教の自由と平和を守るため、何よりも主の栄光が現されるため、活動します。

平和を願いながらも現実の世界はますます混沌とし、争いが絶えません。被造物のすべてが共にうめき、苦しんでいるのを日々目の当たりにしています。現代にあって、平和を実現する教会となるために、互いに心を合わせ、祈りを合わせたいと思います。

日本キリスト教連合会は「日本宗教連盟」「東京都宗教連盟」と連携

宗教行政を担当する文部科学省／文化庁に対して宗教側の窓口となるのが「日本宗教連盟」です。連盟を構成するのは日本キリスト教連合会をはじめとする、全日本仏教会や神

社本庁など計5団体です。憲法に定められた宗教施策が正しく行われるように、宗教側も常に連携しながら働きかけ、健全な政策が行われるように努力を重ねております。

編集後記

日キ連では2年毎に担当教団が変わります。4月に2年目の切り替えがあり、カトリック中央協議会から日本聖公会にバトンタッチされました。連絡／問い合わせ先が変わりましたので気を付

けください。常任委員は各教団の人事とリンクします。今年は半数のメンバーが新しくなりました。下の写真は6月の常任委員会の集合写真です。秋の研修会で（Zoomですが）お会いできることを楽しみにしております。（矢木良雄）

●日本キリスト教連合会役員（2026年度）

委員長 上原榮正（日本聖公会）
副委員長 矢萩新一（日本聖公会）
常任委員 中田義直（日本バプテスト連盟）
どうけ 道家紀一（日本基督教団）
滝田浩之（日本福音ルーテル教会）
尾高修一（カトリック中央協議会）
よしあき 江原慶亮（日本同盟基督教団）
内村 保（日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団）
佐藤信行（イムマヌエル綜合伝道団）

*日本キリスト教連合会へのお問い合わせは
162-0805
東京都新宿区矢来町65 日本聖公会管区事務所
「日本キリスト教連合会」へ。

▶日本キリスト教連合会の主な活動

- ・年6回の常任委員会
4月、5月、7月、9月、11月、2月（変更あり）
- ・年2回の定例会（例年は2月と9月に開催）
- ・法人事務・会計実務研修会（秋に開催します）
- ・「会報」を随時発行し、情報をお届けします

